

平成18年度総会

平成18年8月19日(土) 福岡県久留米市ホテルニュープラザにおいて「NPO法人戦没者を慰霊し平和を守る会」の平成18年度総会を開催しました。出席者21名(委任状92名)で塩川聡事務局次長を議長に選出し、平成17年度の事業報告並びに、平成18年度の事業計画・新役員等を確認、決定しました。

平成17年度事業報告

戦後61年が経過しました。しかし、戦後処理は終わっていません。1、海外には、116万人の戦没者が放置されています。にもかかわらず日本政府は、捜索を行っていません。2、千鳥が淵苑は、墓地といえながら、墓地埋葬法の許可さえ取っておらず、違法な状態が続いています。3、発見された戦没者の遺体は、当然遺族に返すべきですが、DNA鑑定は進んでおりません。これは、戦没者の「個人の尊厳」憲法13条に違反した不法行為だと言わざるを得ません。

来年度は、これらの問題をどのように解決し、国の命令で犠牲になられた戦没者の方々に、真の慰霊を行うかが私達に与えられた課題です。

戦後61年が経過しました。しかし、戦後処理は終わっていません。1、海外には、116万人の戦没者が放置されています。にもかかわらず日本政府は、捜索を行っていません。2、千鳥が淵苑は、墓地といえながら、墓地埋葬法の許可さえ取っておらず、違法な状態が続いています。3、発見された戦没者の遺体は、当然遺族に返すべきですが、DNA鑑定は進んでおりません。これは、戦没者の「個人の尊厳」憲法13条に違反した不法行為だと言わざるを得ません。

戦後61年が経過しました。しかし、戦後処理は終わっていません。1、海外には、116万人の戦没者が放置されています。にもかかわらず日本政府は、捜索を行っていません。2、千鳥が淵苑は、墓地といえながら、墓地埋葬法の許可さえ取っておらず、違法な状態が続いています。3、発見された戦没者の遺体は、当然遺族に返すべきですが、DNA鑑定は進んでおりません。これは、戦没者の「個人の尊厳」憲法13条に違反した不法行為だと言わざるを得ません。

戦後61年が経過しました。しかし、戦後処理は終わっていません。1、海外には、116万人の戦没者が放置されています。にもかかわらず日本政府は、捜索を行っていません。2、千鳥が淵苑は、墓地といえながら、墓地埋葬法の許可さえ取っておらず、違法な状態が続いています。3、発見された戦没者の遺体は、当然遺族に返すべきですが、DNA鑑定は進んでおりません。これは、戦没者の「個人の尊厳」憲法13条に違反した不法行為だと言わざるを得ません。

1. 事業の成果

1. 慰霊巡洋活動
平成18年2月、沖縄で遺体収容体験に合わせ、慰霊を行いました。平成18年6月、「沖縄慰霊の日」慰霊祭に合わせ、旧第一中学校(現在の首里高校)の慰霊祭に参加しました。平成18年7月、フィリピン・レイテ島で日比合同慰霊祭を行いました。

2. 事業の実施に関する事項

定款の事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の数	受益対象者の範囲及び人数	支出額(千円)
戦没者の慰霊	慰霊巡洋	2月10日～12日 6月22日～23日 7月30日～8月4日	沖縄 フィリピン	2名	戦没者及びその遺族60万人	125
遺体収容とDNA鑑定の推進	沖縄にて防空壕の「沖縄戦戦没者遺体収容体験」を開催 当会に依頼があった遺留品を持ち主に返還	2月10日～2月12日 1年間	沖縄県 全国・アメリカ	22名 3名	戦没者及びその遺族60万人	844
諸外国友好親善	レイテ島のバリエティ小学校生徒及び、現地人との交流	1年間	フィリピン・レイテ島	2名	レイテ島バリエティ住人600人	0
平和運動参加	平和と憲法を語る集い九条の会全国集会への参加 憲法九条改正に関するアンケート調査	5月3日 6月10日 3月1日～	沖縄県 東京都 全国	7名 10名	全国民1億2千万人 全国民1億2千万人	411
会報及び戦史発行	会報「平和の灯」第8号発行 第9号発行	8月31日 2月28日	事務局	10名	戦没者遺族会等300人	747

2. 事業の実施に関する事項
「戦没者に平和を誓う旅」と題して講演を行いました。戦争で犠牲になった同世代の若者や家族の思いを感じ取り、戦争の悲惨さ、また平和の尊厳が深く心に刻まれたと感想を聞き、一人一人が「自分たちに出るからやろう」と思ってくれたようでした。

平成17年度 特定非営利活動に係る事業会計収支計算書

平成17年8月1日から平成18年7月31日まで
特定非営利活動法人 戦没者を慰霊し平和を守る会 (単位:円)

科 目	金 額	金 額
(資金収支の部)		
I 経常収入の部		
1. 会費・入会金収入	499,000	499,000
2. 寄付金収入	3,574,204	3,574,204
3. 書籍販売収入(定価)	1,500	1,500
経常収入合計		4,074,704
II 経常支出の部		
1. 事業費		
戦没者の慰霊	124,899	
遺体収容とDNA鑑定の推進	843,560	
諸外国友好親善	0	
平和運動参加	411,274	
会報及び戦史発行	746,970	
2. 管理費		
接待交際費	120,575	
会議費	20,790	
通信費・輸送費	196,986	
消耗品費	61,346	
新聞図書費	17,000	
諸会費	73,560	
租税公課	500	
雑費	15,917	
経常支出合計	2,633,377	
経常収支差額		1,441,327
III その他資金収入の部		
受取利息	0	0
その他資金収入合計		0
IV その他資金支出の部		
その他資金支出合計		0
当期収支差額		1,441,327
前期繰越収支差額		365,299
次期繰越収支差額		1,806,626
(正味財産増減の部)		
V 正味財産増加の部		
1. 資産増加額		0
2. 負債減少額		0
増加額合計		0
VI 正味財産減少の部		
1. 資産減少額		1,500
貯蔵品		1,500
当期収支差額(再掲)		-1,441,327
2. 負債増加額		
減少額合計		-1,439,827
当期正味財産増加額(減少額)		1,439,827
前記繰越正味財産額		-1,274,701
当期正味財産合計		-165,126

役 職	氏 名
理 事 長	永 田 勝 美
副 理 事 長	坂 木 茂 太 郎
副 理 事 長	塩 川 正 隆
理 事	西 土 純 一
理 事	川 副 正 敏
理 事	高 田 俊 秀
理 事	桑 野 智 喜 人
理 事	高 木 一 希
理 事	川 村 博 文
理 事	山 本 直 樹(新)
監 事	矢 野 佳 運
監 事	島 靖 彦

平成18年度活動方針

今、わが国では、憲法改正の動きが強まっています。自衛隊を自衛軍にし、集団的自衛権の下に、アメリカと共に戦争の出る国にする為です。悲惨な戦争の犠牲者の方々を、慰霊し平和を守る為に設立した、当会としては、到底見過ごすことは出来ません。昨年度、佐賀県みやき町の「憲法9条を守る会」と共に、当会の若者が10万人アンケート活動に取り組みました。本年度も、各地で講演会などを行って、連携の輪を広げ、活動を継続していきます。また、沖縄県旧大里村(現南城市)の防空壕の国の捜索はその後進んでおらず、遺族探しも行われ

遺留品調査状況 (平成18年7月7日現在)

遺留品	旧所有者	依頼者
手帳	安慶名孝一	Andy Williams
写真	太田 榮昇	Orville B King
写真	太田 榮昇その他	Orville B King
写真	山浦	Orville B King
メモ	松尾 種三	Dwight J Liggett
メモ	原 輝重	Dwight J Liggett
写真	細江 五郎	William G Cave
写真	伊藤 保正	William G Cave
写真	高橋 康男	William G Cave
写真	小林 武夫	William G Cave
写真	蛭内 清一	William G Cave
写真	西山 敏雄	William G Cave
写真	鈴木 千作	William G Cave
写真	菅沼 清夫	William G Cave
写真	西村 百四	William G Cave
写真	細田 寿一	William G Cave
写真	城倉 寿男	William G Cave
写真	中村祐三郎	William G Cave
写真	清水健次郎	William G Cave
写真	岡本 金久	William G Cave
写真	大澤 武通	William G Cave
写真	並木 三次	William G Cave

遺留品返還状況 (平成17年8月～18年7月)

遺留品名	持ち主	依頼者	返還日
日章旗	中尾 茂	Michael A Sedia	平成17年12月14日
通帳	高畑 弘	Richard Verner	平成18年1月16日
写真	高畑 芳男	Richard Verner	平成18年1月16日
教科書	大城 義雄	琉米歴史研究会	平成18年1月27日
木札	山下 源蔵	琉米歴史研究会	平成18年1月27日
日章旗	苗加 源治	Kim Buyske	平成18年2月3日
日章旗	五十嵐茶平	Ned Frederick	平成18年4月18日
日章旗	浅井 竹三	Paul Tarlowe	平成18年4月23日
写真	光崎上等兵	Orville B King	平成18年5月16日



浅井竹三さんの日章旗を遺族に返還

遺族からの礼状

この度は、色々お骨折りいただきましてありがとうございました。誠にありがとうございました。本当に嬉しゅうございます。戦後六十年経った今、私達はようやく終戦を迎えることが出来たと思います。日の丸を見た瞬間、裏側から兄が顔を出すかと思いましたが、亡き兄もホツとすると、浮かばれると思います。本当にご苦労おかけしました。ありがとうございました。八人もの兄妹の中で、私が佛の世話をすることも何かの巡り会いかと思います。何かまたございました折には、宜しくお願い致します。

沖縄戦戦没者遺体収容体験ツアー参加者募集

昨年に引き続き、今年2月に第2回目の「沖縄戦戦没者遺体収容体験ツアー」を行いました。その模様をTBS「ニューズ23」や新聞各紙に取り上げられるなど、全国的に活動が認知されてきました。また、「平和の灯」9号でお伝えしたように参加者の方々にも貴重な体験をしていただけたと考えます。そこで来年も第3回目の「戦没者遺体収容体験ツアー」を実施することといたしました。今回は、昨年行けなかった方々を含め、なるべく多くの方々に参加していただきたく募集定員を30名に増やしました。戦後60年以上経っていますが、国から命じられ、国のために戦い犠牲とな

焼きついであります。戦争が憎い。誰も恨めない。憎めない。でも戦争が憎い。やつと飾り物の骨物のないお墓に命が入ります。お墓らしいお墓にします。亡き兄もホツとする、浮かばれると思います。本当にご苦労おかけしました。ありがとうございました。八人もの兄妹の中で、私が佛の世話をすることも何かの巡り会いかと思います。何かまたございました折には、宜しくお願い致します。

日 時
平成19年1月19日(金)
21日(日)(2泊3日)

場 所 沖縄県

参加費
会 員...3万5千円
非会員...5万5千円

申込期限
平成18年10月31日
(先着30名で締め切り)

※参加希望の方は、事務局までご連絡下さい。

連絡先
0942-89-5135
(塩川総合企画(株)内)
担当:古賀